いちのみやの社会福祉

2009
No.12
2月号
発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

障害者スポーツサポートボランティア養成講座（カローリング体験）

もくじ

・赤い羽根共同募金運動実績……2
・赤い羽根作品コンクール入賞者一覧……3
・全国・愛知県社会福祉大会表彰者一覧
　善意のご寄付……4
・福祉実践教室が開かれています……5
・ボランティア養成講座
　家族介護者リフレッシュ事業のご案内…6･7
・特集　気軽にできるニュースポーツ……8･9
・防災一口メモ……10
・ヘルパーだより……11
・各種事業の報告……12･13
・編集ボランティアのページ……14･15
・福祉ふれあいコンサートのご案内……16

平成20年度 赤い羽根共同募金運動実績

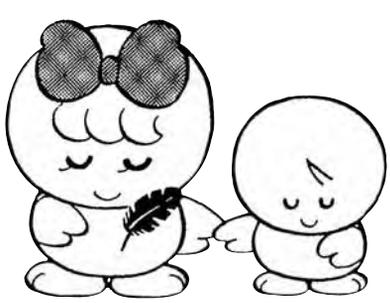
地域福祉のために温かいご協力ありがとうございました

種別募金額

（円）

募金種別	募金額
戸別募金	30,445,097
法人募金	11,584,471
学校募金	1,563,741
街頭募金	645,359
職域募金	466,307
その他	89,309
合計	44,794,284

（12月25日現在）



連区別募金額

（円）

連区名	募金額	
	戸別募金	法人募金
宮西	767,850	393,000
貴船	902,900	386,000
神山	1,083,800	637,000
大志	524,561	569,000
向山	585,990	314,000
富士	797,442	340,000
葉栗	1,355,987	464,500
西成	2,822,775	1,126,500
丹陽	1,636,360	862,650
浅井	1,654,029	539,500
北方	894,192	340,000
大和	3,032,995	743,000
今伊勢	1,964,461	379,000
奥	1,086,650	460,000
萩原	1,489,636	823,500
千秋	1,363,850	424,100
起	320,632	207,000
小信中島	951,004	309,000
三条	1,314,745	944,000
大徳	980,728	245,721
朝日	1,237,860	413,000
開明	761,180	255,500
木曽川町	2,915,470	408,500
合計	30,445,097	11,584,471

皆様からお寄せいただいた募金は、地域福祉の充実のために役立てられます。

一宮市共同募金委員会

平成20年度

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

多数のご応募ありがとうございました

「国民たすけあい共同募金運動」の健全な推進を図るため、児童・生徒の皆さんにも「たすけあい」の理解と認識を高めていただくようにとの趣旨から、書道・ポスター作品の募集をしたところ、書道の部八、二九四点、ポスターの部四、四九八点の応募がありました。

本会において審査会を開催し、左記特賞作品をはじめ、優秀作品を選出しました。特賞以外の上位入賞者は下記のとおりです。

（敬称略）

特賞作品

大和中３年　吉峯　賢

末広小4年　内村瞭介

黒田小1年　川端初音

中部中3年　平手志歩

浅井南小6年　田上功也

瀬部小4年　川浦真歩

書道の部　入賞者一覧

賞	学校名	学年	氏　名
一位	西成小	5	髙木　麻歩
一位	千秋南小	4	前田佳央理
一位	千秋南小	5	岸　誠
一位	開明小	6	津留﨑樹真
一位	黒田小	3	水野　佑菜
一位	北部中	2	春日井祐希
一位	尾西第三中	1	元永　翔子
二位	貴船小	5	平野　朱莉
二位	葉栗小	3	松原　百花
二位	西成小	4	林　由莉
二位	瀬部小	5	後藤　史也
二位	赤見小	3	山田　美森
二位	丹陽西小	6	小島　早貴
二位	浅井南小	4	大塚　彩芽
二位	浅井南小	6	畑佐　実咲
二位	浅井北小	5	岩田　結以
二位	千秋南小	3	本田　萌紅
二位	西成東小	6	大塚　椰野
二位	三条小	5	佐藤満里奈
二位	黒田小	6	西元　琴音
二位	南部中	3	三ツ川歩実
二位	葉栗中	2	伊藤　里紗
二位	千秋中	2	岸　美里
二位	千秋中	3	都築　澪
二位	尾西第一中	1	宮崎　颯大
二位	尾西第二中	3	岩田　紫帆
二位	尾西第三中	3	津留﨑聖斗

賞	学校名	学年	氏　名
三位	宮西小	3	墨　紗希
三位	宮西小	5	柴田　朋美
三位	貴船小	4	津田　侑佳
三位	神山小	3	平野　良実
三位	大志小	4	丹羽　清花
三位	大志小	4	伊藤かすみ
三位	葉栗小	3	河村　祥成
三位	葉栗小	6	板津　光亮
三位	瀬部小	3	則武　千尋
三位	瀬部小	6	林　瑞歩
三位	瀬部小	6	川島　里恵
三位	赤見小	6	大八木悠花
三位	浅野小	5	長森　晴菜
三位	丹陽小	6	伊藤　亜美
三位	丹陽小	6	丹羽　彩寧
三位	浅井南小	5	渡辺恵理子
三位	浅井北小	5	石井　美帆
三位	大和西小	6	榊　未歩
三位	末広小	6	山岡　楓
三位	木曽川東小	4	則武　孝汰
三位	北部中	3	星野　綾花
三位	葉栗中	1	水谷　静香
三位	葉栗中	3	板津　美幸
三位	丹陽中	3	大島　楓
三位	大和中	2	浅野　遥
三位	今伊勢中	3	奥田　祐己
三位	尾西第一中	2	恩田　了綺
三位	尾西第二中	2	橋本　恭枝
三位	尾西第三中	1	岩田　桃佳
三位	木曽川中	1	杉山　真由

ポスターの部　入賞者一覧

賞	学校名	学年	氏　名
一位	瀬部小	2	野々目久祥
一位	朝日東小	6	佐久間理帆
一位	大徳小	3	浅野　美波
一位	大和中	3	足立　紋奈
一位	大和中	3	田中　千晴
一位	尾西第三中	1	三輪　明里
一位	尾西第三中	2	小林　奈桜
二位	神山小	4	河合　菜穂
二位	大志小	6	神谷　和奏
二位	向山小	1	篠田萌々子
二位	向山小	2	土川　友吾
二位	向山小	5	篠田菜々子
二位	向山小	5	野村　駿介
二位	西成小	2	片山　聖奈
二位	大和西小	4	浅井　千晴
二位	今伊勢小	5	本告　未貴
二位	今伊勢小	6	皆良田侑祐
二位	奥小	1	高橋　佳歩
二位	末広小	4	太田　琴音
二位	今伊勢西小	3	山田　葉月
二位	三条小	6	松岡　広大
二位	開明小	3	杉本　佐和
二位	黒田小	6	岡野　綾
二位	北部中	1	今井　彩乃
二位	北部中	1	前田　靖晴
二位	萩原中	2	青山日花利
二位	尾西第三中	3	松本　瑠依

賞	学校名	学年	氏　名
三位	貴船小	4	廣川明日香
三位	神山小	3	坂田　遥佳
三位	大志小	5	大野紗弥花
三位	葉栗小	4	小島　千奈
三位	瀬部小	5	原　かよ子
三位	赤見小	1	櫻井紀莉果
三位	赤見小	3	橋本彩也夏
三位	浅野小	2	江本　雅子
三位	北方小	2	原　菜津穂
三位	北方小	6	榊山　凱斗
三位	萩原小	4	岡田　怜夏
三位	千秋南小	5	河田ひかる
三位	末広小	3	内田　奏海
三位	末広小	6	長谷川友紀
三位	大和南小	1	松岡　紫円
三位	起小	2	根本　勇飛
三位	朝日東小	3	松本ゆずな
三位	朝日東小	4	牧　穂乃花
三位	朝日東小	5	加藤　結衣
三位	朝日東小	5	岸　知里
三位	朝日東小	6	佐藤　奈緒
三位	朝日西小	1	伊藤　琴美
三位	朝日西小	2	岩﨑　澪
三位	木曽川西小	1	光崎　楓奈
三位	北部中	1	坪内　克樹
三位	北部中	2	坂下ひかり
三位	大和中	3	足立　夏美
三位	萩原中	1	大橋　美月
三位	千秋中	2	山守　裕美
三位	大和南中	2	木全みどり

表彰おめでとうございます

◆平成20年11月7日、日比谷公会堂において平成20年度全国社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

◎厚生労働大臣表彰

・民生委員・児童委員
佐々木千賀子

◎全国社会福祉協議会会長表彰

・永年勤続功労者
橋 本 朝 美、田 中 一 恵、加藤 冨士子、柴 田 朋 子、日比野 幸子、浅野 佳代子
鈴 木 宏 子、太 田 裕 美、川口 美由紀、井出美佐子

◆平成20年11月5日、愛知県体育館において第56回愛知県社会福祉大会が行われ、一宮市から次の方々が表彰されました。（敬称略・順不同）

◎愛知県知事表彰

・民生委員・児童委員
大島　　弘

◎愛知県社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員
井 上 久 江、髙御堂　シゲ
・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者
コスモスの会

◎愛知県共同募金会会長表彰

・従事功労者
遠 藤 修 正

善意のご寄付ありがとうございました

平成20年８月１日～11月30日

（敬称略・順不同）

カラオケ喫茶　めぐの館	豊田合成㈱尾西工場
エス・ビー建材㈱（４回）	㈱壱番屋ボランティア委員会
尾西クラブ	尾西信用金庫
大東建託㈱一宮支店	小島輝彦
向山連区盆踊り実行委員会	一宮市菊花大会
尾西高等学校生徒会	河合幸男
木全静子	木曽川商工会女性部
ニッケテニスドーム一宮	愛知西農業協同組合
愛の募金箱設置店（71箇所）	起工業高等学校3年生・機械科
一宮市ボランティアセンター登録ボランティアグループ	丹陽地区商工発展会
㈱一宮福祉サポート	家庭倫理の会一宮市
起工業高等学校機械科・テキスタイル科	匿名　25件
西尾張建設共同組合	

合計　2,350,206円

家族介護者のみなさんがリフレッシュしました!

平成20年11月14日・21日の２回に分け、在宅介護者に対して、日頃の介護疲れを癒し、支援する事を目的に尾西支部が家族介護者リフレッシュ事業を開催しました。両日とも23人の方が参加され、１日目には福祉の制度や健康体操・ボランティアによる剣詩舞を鑑賞していただき、２日目には一日バスで南木曽町に出かけ、箸作りや温泉につかり食事をしながら悩み事や情報交換をするなど、のんびりとした一時を過ごされ、気分転換を図って明日への活力としていただきました。

健康体操でリフレッシュ中

福祉実践教室～色々な福祉体験をいかしてね!

社会福祉協議会では、市内の小・中・高等学校の中から社会福祉について学び、各種事業に取り組んでいただく福祉推進校を指定しています。
今年度は５２校を指定し、そのうち小学校２７校、中学校１９校で福祉実践教室を開催しました。車いす体験では、講師の方から「乗っている人が安心できるよう、動かすときは声をかけて」などと指導をうけ、押す方の生徒たちは車いすに乗っている生徒が障害物にぶつからないように、神経を使って誘導し、段差を下りる時も、後ろ向きになり、声をかけながらゆっくり慎重に下ろしていました。

この他にも、点字・手話・高齢者擬似体験・ガイドヘルプなども実践しています。実際に触れることで、障害を持つ方の日常生活で「困っていること」を感じてもらいます。

そして自分たちが、「できること」を考えてもらえる機会になるように、実施しています。

車いすで段差を下りる体験中

視覚障害者パソコン教室が終了しました

移動式まいるか２号の車内での勉強の様子

平成20年10月7日から11月25日までの毎週火曜日の午後、尾西庁舎で視覚障害者の方を対象に視覚障害者パソコン教室を開催しました。この講座は移動パソコン教室まいるか2号の車内で開催するもので、5名の方が参加しました。受講者はマンツーマンで指導を受け、熱心に取り組み、最後にはインターネットで情報を取ったりメール作成等をマスターして今後自分でも活用できていく事を願って終了いたしました。

ボランティア養成講座のご案内

あなたの人生を豊かにする　退職者ボランティア講座

日　　程　２月19日・26日・３月５日・12日の毎週木曜日　午前10時～正午
会　　場　社会福祉協議会（本部）
対　　象　おおむね56歳以上の退職者
内　　容　新しい仲間とともに地域社会に根ざしたボランティア活動を行うため、心構えと基本ノウハウを体得する
定　　員　30名（先着順）
受 講 料　無料
申し込み　2月6日（金）から電話で本部（TEL24－2940）へ

回	月　日	テーマ	講　師
1	２月19日(木)	ボランティア活動	一宮市老人クラブ連合会 会　長　木村　十九樹　氏
2	２月26日(木)	スポーツボランティアと体力づくり	愛知県障害者スポーツ指導員 愛知県健康づくりリーダー　酒井　マチ子　氏
3	３月５日(木)	退職者のセカンドライフを楽しむために	ＮＰＯ法人　イキイキライフの会 理事長　中村　友之　氏
4	３月12日(木)	さあ始めようボランティア	NPO法人　一宮ボランティアグループリーダーの会 理事長　浅野　總一郎　氏

視覚・肢体障害者の外出を支援する　ガイドヘルプ講習会

日　　程　３月４日（水）・11日（水）
　　両日とも 午前10時～午後３時
会　　場　一宮スポーツ文化センター
対　　象　市内在住･在勤で、視覚･肢体障害者福祉に関心がありボランティア活動を希望する方
内　　容　ガイドヘルプについての講義、実技、屋外体験実習など
定　　員　20名（先着順）
受 講 料　無料（実習用昼食・バス・電車代は各自負担）
申し込み　2月6日（金）から電話で本部（TEL24－2940）へ

子どもとふれあう喜びを実感する　おもちゃ図書館ボランティア講座

回	月　日	テーマ	会　場
1	２月24日(火) 午前10時～12時	・おもちゃ図書館の概要について ・手作りおもちゃを作ってみよう	社会福祉協議会（本部）会議室
2	２月25日(水) ～3月23日(月) 但し、3/20は除く 月～金曜日の いずれか一日 午前10時～午後2時	おもちゃ図書館ボランティア 一日体験実習	○おもちゃ図書館「おもちゃの城」 浅井町前野字西藪３４ （ふれあいセンターめぐみ内） ○おもちゃ図書館「なかよし」 丹陽町重吉字北屋敷３８０ （ふれあいセンターなごみ内） ※上記のうちどちらか１館
3	３月24日(火) 午前10時～12時	地域に根ざした魅力ある 図書館運営をめざして グループ討議	社会福祉協議会（本部）会議室

対　　象　児童福祉に関心があり、おもちゃ図書館で週に１回程度ボランティア活動ができる方
定　　員　２０名（定員を超えた場合は抽選）
受 講 料　無　料
申し込み　２月１２日（木）午前９時から社会福祉協議会（本部）会議室で受付

家族介護者のみなさんへ リフレッシュ事業に参加しませんか？

日々の介護から少しの間だけ離れ、同じように家庭で介護をしている方々と日頃の悩みや体験を語り合って、介護疲れを癒しリフレッシュしましょう。

対　象　者　　市内在住の方で「介護保険法」において「要支援1･2、要介護1～5」と認定された方を在宅で介護されている方

日時・内容など

月　日	時　　間	内　　容	場　　所
3月13日(金)	午前9時～午後4時	日帰りバスツアー ヘルパー、保健師による個別相談	うすずみ温泉 四季彩館

参　加　費　　500円
集合・解散　　一宮駅南高架下
定　　員　　20名（先着順）
申し込み　　２月９日（月）
　　午前９時から電話で本部（TEL24－2940）へ

里親ボランティアを募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、５月のゴールデンウイーク、お盆、年末年始の年３回です。

ボランティアとしてご協力いただける方は本部（TEL24－2940）へご連絡ください。

ニュースポーツ

……みんな一緒にLet's Try

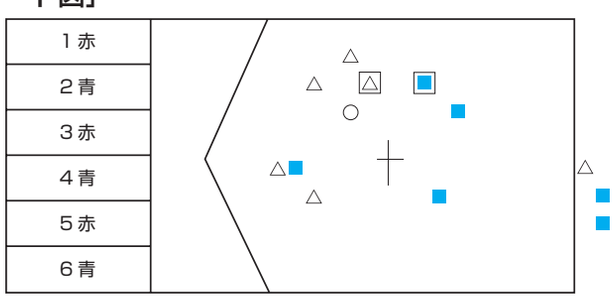
のもいいですが、家に閉じこもってばかりいると身体もなまってしまい、気持ちも暗くなりが

のではないでしょうか？
決してハードなものではなく、どちらもレクリエーションスポーツですので、仲間とコミュニ

ボッチャ

決められたコートの中でジャックという白いターゲットボールに個人、ペア、団体に分かれ、赤、青それぞれ６個のボールを投球し合い、ジャックボールにどれだけ自分のボールを近づけられるかを競うスポーツです。

[コート図]



○白（ジャックボール）　△赤　■青

・1対１で行う個人戦、２対２で行うペア、３対３で行う団体戦があります。
・いずれも１チーム６個のボール（赤または青）をジャックボール（白）に近づけるようになげます。
・投げる順番は
　① 赤チームの左端の人がジャックボール（白）を投げます。（２ゲーム目は青チームの左端の人が投げて、後は同じ要領。）
　② 同じ人が赤ボールを投げます。
　③ 青チームの誰かが青ボールを投げます。
　④ これ以降はジャックボールに遠いほうのチームの誰かが投げます。
　⑤ 一方のチームの投げるボールがなくなれば、もう一方のチームが連続して投げます。
・ジャックボールや他のボールに当たっても、そのまま続けます。
・ジャックボールがコートの外に出たとき、ジャックボールはクロスの位置に戻ってきます。
・得点は
　① 双方のチームの最もジャックボールに近いボールを比較し、どちらが近いかを判定（赤）し、
　② ジャックボールに遠かった方のチーム（青）のジャックボールに一番近いボールとジャックボールを結んだ線を半径とし、ジャックボールを中心とした円 を描き
　③ その円の中に何個赤ボールがあるかを数えます。その数が得点となります
　④ ①がまったく等距離のときのみ１対１となります。
・個人戦とペア戦は４ゲーム、団体戦は６ゲーム行い合計得点を競います。
・ボールを投げられない人は補助具を使うことができ、また介助を受けることもできます。
・介助者はゲーム中コート内を見てはいけません。

しています。ご希望の方はお問合せください。

特集 誰でも楽しめる

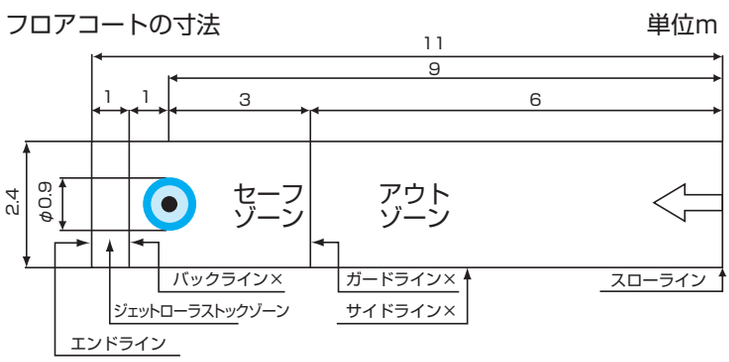
子どもから高齢者、障害者も健常者も

寒い日が続きますが、皆さん元気に過ごしていますか？やはり、冬は暖かい部屋でゆっくりするちです。
そんな時は学校、職場、地域の仲間と一緒に体を動かして、気持ちよく汗をかいてみるのも良いそこで今回は屋内で誰もが気軽にできるニュースポーツを２つ紹介します。スポーツといってもケーションを図りながら気軽に楽しむことができるので、ぜひチャレンジしてみましょう。

カローリング

フロアコートの中にあるポイントゾーンを目標にジェットローラーという円盤を投球し、どれだけ近くに寄せられるかを１チーム３人または４人で相手チームと得点を争う競技です。ちょうど冬季オリンピック種目にもある氷上で行うカーリングを体育館などの床の上でおこなうスポーツです。

［コート図］



［ルール］※ジュニア競技の場合

●投球順序は、相手チームと1個づつ交互に投球します。

ファーストプレイヤー、セカンドプレイヤー、副主将、主将の順序で相手チームのプレイヤーと1個づつ交互に投球します。

●先攻、後攻は両チームの主将が、じゃんけんで決めます。

各イニングに於て、勝ちチームは、次のイニングで先攻になります。両チームのジェットローラを全部（8個）投球して1イニングを終了し、両チームの副主将が、得点計算を確認します。ポイントゾーンの中心に最も近い位置にジェットローラを停止させたチームが勝ちとなり、このジェットローラに順次、連続した位置にある勝ちチームのジェットローラは、すべて得点の対象となり加算されます。負けチームのジェットローラがポイントゾーン上に何個存在していても、得点はすべて0点です。

※カローリング、ボッチャの道具は社会福祉協議会　木曽川支部（TEL87－2000）で貸出

防災一口メモ

被災地でボランティアとして活動するには…

地震、台風、集中豪雨.....

昨年は愛知県に記録的なゲリラ豪雨が襲来し、市内でも床上浸水の被害に遭われた世帯も発生しました。

これらの災害によって、多くの人の命や住む家や働く場が失われるなど、被災地は大きな被害を受けます。

そのような被災地の状況を見聞きして、何か力になりたいと思う人も多いでしょう。

大きな災害が発生したとき、そうした気持ちを行動に移すために、知っておきたい「災害ボランティアの心構え」をご紹介します。

１．災害発生直後、まずはテレビやラジオで被害状況を正確に把握

被災地の状況をニュースなどで見ると、すぐにでも被災地でボランティアをしたいと思う人もいるでしょう。しかし災害発生直後は、道路や鉄道、電気やガス、水道などのライフラインが寸断されるなど被災地は大きく混乱しています。また、情報の中には未確認のものや不正確なものも混じっています。

自分勝手な判断で現地に向かうのではなく、まずは、テレビやラジオなど複数のメディアで被災地の状況を正確に把握することが大切です。

２．被災地や被災者のニーズを第一に考える

災害ボランティアは、特別な人がするものではありません。「被災地の人たちの力になりたい」という気持ちがあれば、誰にでも出来ます。

実際にボランティア活動をするうえで大事なのは、被災地の人たちの気持ちやニーズを第一に考えるということです。自分の思い込みだけで、現地に入り、自分勝手に活動を始めたり、支援物資を送ったりすることはせず、被災した人々やボランティアとお互いに協力して活動に取り組むという姿勢が大切です。

３．被災地での災害ボランティアは「自己完結型」の装備で

被災地で災害ボランティアとして活動するための原則は「自分の面倒は自分で見て、他人に迷惑をかけないこと」です。自分の食料や宿泊、交通手段などはボランティアをする本人が確保し、自分の住む地域の社会福祉協議会等で「ボランティア保険」に加入してから被災地に向かいましょう。

また、被災地や被災者に余計な負担をかけてしまわないよう、危険な活動、無理な活動はせず、「自己完結型」の装備やスケジュールで現地入りすることが重要です。

４．今ここで、できることもある

自分が被災地に行ったり、支援物資を送ったりすることのほかにも、今ここでできる災害ボランティアもあります。その一つが「義援金」や「赤い羽根共同募金」などに募金することです。

これらの募金は、被災地の人たちに必要とされる物資を購入したり、被災地での災害ボランティア活動を支えたりするための大切な費用となります。

現地での災害ボランティアに参加できなくても、例えば、自分が現地に行った場合にかかる交通費分を寄付したり、自分がバイトしたお金を募金したりすることも立派なボランティアです。

自分が出来る範囲内で、無理のないボランティア活動を心がけましょう。

※義援金の募金活動は、都道府県や共同募金会等で実施されます。必ず公式ホームページ等で確認してから募金して下さい。

ヘルパーだより

平成18年4月の介護保険制度改正により「要支援」の方には、介護予防サービスとして『予防訪問介護』が始まりました。目標として掲げられたのは、『生活機能の低下を防ぎ、自立支援を図る』『閉じこもりを防ぐ』等です。

「やったことがない」「家族の代わりに家事をして欲しい」という理由での援助は、ヘルパーには認められていません。家事行為の全てができなくても、一部分でも工夫すればできることはありませんか？ヘルパーが実際の援助の中で大切にしていることは、利用者さんの『できること探し』です。

調理の場面で、利用者さんと見つけたちょっとした工夫を紹介させていただきます。

1.「男子厨房に入らず」というAさん（男性）

調理経験のなかったこの方とは、「ご飯を炊く」ということから始めました。

「ご飯を炊く」手順のどの部分ができて、どの部分ができないのかを細かく見ていきました。

① 計量する
② 洗う
③ 炊飯器に入れる
④ 水加減をする
⑤ スイッチを入れる

炊き立てのご飯は何よりのごちそうです。

１回でもヘルパーと一緒にやれば案外簡単なものです。

食べ切れなかったご飯は…

⑥ 1膳分ずつラップでくるみ冷凍庫へ入れる
⑦ 食べる時に、冷凍庫のご飯を電子レンジで温める

週１回の訪問でも、何日分かのご飯を炊いて冷凍すれば、食べたい時にアツアツのご飯を食べることができます。

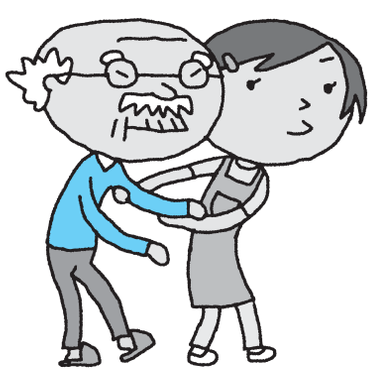
この頃は、週１回のヘルパーの訪問に合わせてメニューを決めて、インゲンのすじ取りやしいたけを水につけて戻す等、食材の下ごしらえをして下さっています。できることが増えていくことを楽しんでくださっているようです。

2.「写真が趣味」のBさん（男性）

完成した料理の写真を、ご本人に撮っていただきヘルパーが材料と作り方を書きました。オリジナルの「レシピカード」ができたことで、調理に興味を持っていただくことができました。「料理は脳トレにもなる」とおっしゃっています。

『できること』が増えていくことを、ヘルパーと一緒に楽しんで下さっているお二人の様子に援助者としても嬉しく思っています。

私たちヘルパーは、ご利用者の方がいつまでも住み慣れた家で、自分らしく暮らし続けていただくための支援をさせていただいております。



第20回　みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”

盛大に開催
ふれあいの輪がひろがりました!!

平成20年10月18日（土）・19日（日）の両日、一宮スポーツ文化センターにおいて、福祉関係者、施設、団体とボランティアが参加し、本会主催による「福祉とボランティア活動展」を盛大に開催し、2日間で約5,500人の入場者がありました。

この催しは、市民に福祉とボランティア活動に対する理解と啓発並びに参加の呼びかけを目的に開催しています。内容はそれぞれの活動状況、活動内容を写真・ポスター・パネル等により展示、バザー・体験コーナーでは大勢の方でにぎわい、模擬店も毎年好評で全品が売り切れとなる状況でした。

また、ボランティアグループによる活動発表会も実施し、皆さん熱心に聞き入っていました。最後に「ふれあい餅つき大会」をおこない、来場者に振る舞いました。

皆様方のご協力のお陰で、無事成功に終えることが出来ましたことに感謝いたします。

防災グッズの展示

ふれあい餅つき大会

ボランティアグループ発表（踊り）

盲導犬PRコーナー

各連区で敬老会が開催されました

一宮市社会福祉協議会の23支会主催により敬老会が各地で開催されました。

平成20年9月6日、尾西地区敬老会が尾西市民会館にて午前と午後の部に分かれて行われ、今年もたくさんの方にお越しいただきました。当日は、式典の他にアトラクションで高山厳と平山みき、横山ホットブラザーズのステージがありました。会場にお越しの皆さんは、昔懐かしい友人と語らいながら、素敵な笑顔で楽しいひと時を過ごされました。

数え100歳の方のお宅を訪問

平成20年中に市内で、53名の方が数え100歳の誕生日を迎えられました。

平成20年10月に3日間にわたり、数え100歳になられる高齢者の方（39名）のお宅を会長が訪問し、長寿をお祝いしました。

訪問先では高齢者の方と笑顔で会話されたり、記念写真を撮影するなど短い時間でしたが、和やかな雰囲気の中、楽しいひと時を過ごされました。

最後に「いつまでもお元気で…」とあいさつをして訪問先を後にしました。

第16回一宮市老人クラブ連合会 三世代交流スポーツ大会を開催！

過ぎ行く秋の平成20年11月15日（土）に木曽川体育館の２階競技場で三世代交流スポーツ大会が開催されました。この大会はスポーツを通して世代間の交流を深めてもらおうと、一宮市老人クラブ連合会が企画し運営した手作りの大会です。

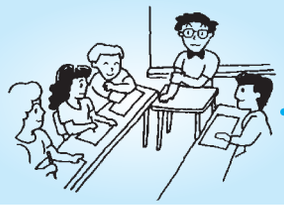
参加者は22チームの計176名。大会名のとおり老人クラブ会員が主となって、子どもからお年寄りの三世代で編制しました。

大会の種目は誰でも気軽にできる「ニュースポーツ」を４種類。名称は「ストライククッションボード」、「リングリングゲーム」、「アキュラシーゴール」、「ワナゲ」です。

参加チームは４つのグループに分かれて、それぞれの場所の種目からスタートして順番に４種目を行って終了するというものです。

この大会では競技という形を取らず、順位など決めませんでした。それは三世代がのびのびとゲームを楽しみながら交流を深めていただくためです。そのためでしょうか、競技場には絶えず歓声がありました。秋のひととき、世代間の交流はいかがだったでしょうか。

みんなで楽しくわなげ



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森　勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、堀部　麗

～認知症サポーターとは～

認知症は誰にも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では４人に１人がその症状があるといわれ、今後20年で倍増すると予想されています。認知症になっても、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことが可能です。認知症サポーターとは、認知症を理解し、認知症の方の「応援者」として自分のできる範囲で活動する人のことです。

地域では…認知症の介護家族には「近所に迷惑をかけているのではないか」という思いがあります。ねぎらいの言葉をかけることで、家族の人の気持ちはぐっと楽になるのではないでしょうか。

街角では…コンビニやスーパーなどで、支払いの計算が出来ない、高額紙幣のみで買い物をするなどといったことがよく見られるといわれます。急がせず、その人のペースで対応できれば、認知症の人も買い物を楽しむことができます。

交通機関では…認知症と思われる方が切符買うところや、どこに行くのか分らなかったりして迷っていることがよく見受けられます。さりげなく声をかけたり、場合によっては駅員さんに連絡したりして大事に至らないように気配りをしてあげましょう。

いま、「認知症サポーター百万人キャラバン」の全国運動が展開されています。認知症サポーター養成講座を受けた人は、手首に「オレンジリング」つけて、サポータであることをアピールし応援します。なお、一宮市でも「認知症サポーター養成講座」を行い、この百万人キャラバンに協力しています。

＊詳しいことは、一宮市高年福祉課（TEL28－9021）

＊参考文献～「認知症サポーター養成講座標準教材」

認知症サポーター
オレンジリング →

ボランティアって何だろう?

傾聴ボランティア講座で学ぶにあたり、「ボランティア」について改めて考えてみました。

広辞苑を引くと　①義勇兵　②自ら進んで事業に参加する人　とあります。また、インターネットで調べてみると 「志願者の意」で、自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をする人　とあります。そして、自主的に事業に参加する「動機」には、いくつかの解釈があるとしています。（参考：ウィキペディア (Wikipedia): フリー百科事典）

a．他者のための奉仕
最も古典的なボランティアの意味で、他者のために奉仕するのがボランティアである。

b．将来の自分の利益のための奉仕
ボランティア活動は直接的な利益はないが、巡り巡って自分にも利益が戻ってくるという立場からボランティアを行う。

c．自分への投資
ボランティア活動を自分への投資と考えてボランティアを行う。

d．時間消費のための手段
ボランティア活動も、その他の余暇活動と同じように時間を消費するものとしてボランティアを行う。

ボランティアへ参加する動機はさまざまですが、活動をする時に心がけたいことは、
『人の気持ちになって考え、相手のペースに合わせて動くこと』です。

心のふれあい活動

あかつき富美寿会

私達の会は、今年で34年目になります。趣味でおぼえた舞踊でありますが、明るい社会づくりにお役に立てばと、日夜練習に励んでおります。

会の理念でもある「心のふれあいの場」をモットーに地域で開催される福祉活動や老人施設の慰問を継続できる様に頑張っていきたいと思っています。

今年度は一宮市をはじめ、津島市海部郡の老人施設、各施設で行われる行事、盆踊り大会に参加して喜ばれております。

琴伝流大正琴　琴稀会

私達琴稀会は、平成5年に結成され、今年で16年目を迎えました。ソプラノ・アルト・テナー・ベースのアンサンブルで大正琴の音色を味わいながら、童謡唱歌・演歌・民謡等の曲をみんなで楽しく演奏しています。

ふれあいの集い・福祉のつどい・福祉施設の慰問など地域の皆さんと交流をしながら、ボランティア活動を行っています。

多くの方の喜んでいただける笑顔が大きな充足感となって、日々練習に励んでいます。

練習日は、毎週金曜日と土曜日午後1時から尾西文化広場で練習しています。

お問い合せ先　　あかつき富美寿会　近藤すみ子　TEL62－4072
琴伝流大正琴　琴稀会　不破　清子　TEL62－3023

The Cinema Review of Welfare　～映画で“ふくし”を想う時間（とき）～　VOL6

今回紹介する映画は、「ホテル・ルワンダ」

2004年南アフリカ/イギリス/イタリア合作、2006年日本公開

“善”と“悪”人間同士の驚愕の実話です！

アフリカの小国ルワンダで実際に起こった民族紛争を舞台にそこの有名ホテルで働く支配人ポール・ルセサバギナ（ドン・チードル）の愛と勇気の奮闘を描いた感動と驚愕のノンフィクションストリー。

1994年ルワンダでは長年続いた「ツチ族」と「フン族」の民族間の争いが大虐殺に発展し、100日で100万人もの罪なき人々が惨殺された。（ルワンダ大虐殺）アメリカやヨーロッパ、国連までもが小国の「第三世界の出来事」としてこの悲劇を黙殺した。地元有名ホテルの支配人であったポールは、妻がツチ族でフン族に狙われていたため、最初は何とか家族だけでも救おうとしていた。しかし、彼を頼りに集まってきた人々や親を殺されて孤児になった子供達を見るうちにポールの心に変化がおきた。「この人達を見捨てることはできない。そうしなければ一生後悔する」と立ち上がった彼は、たった一人で虐殺者たちに立ち向かった。

ホテルマンとして培った人脈と巧みな話術、機転のある行動で虐殺者たちと懐柔し、翻意し、時には脅しながら1200人余りの命を守り抜いたのだ！

余談ですが、この映画「ホテル・ルワンダ」の公開は当初日本では予定がありませんでしたが、20代の若者が先立って、公開のための署名運動を展開、約3ヶ月で4000人を超える署名を集めた結果、日本公開が決定したそうです。（それでも当初は渋谷のミニシアターのみだった）ズバリ、“観るべき映画”です。この現代において、同じ人間同士が…実際に行われた衝撃の事実です。今現在この瞬間にも世界中のどこかで大小さまざまな紛争が起きています。いずれも人間同士です。私たちが住む現在の日本では想像できないことばかりで、実際に何もしてあげられない場合がほとんどだと思います。いや想像する気もない人がほとんどかもしれません。だからこそ、まずは想像してみること、思ってみることが大切だと思います。

福祉ふれあいコンサート

名古屋ゴスペルシンガーズ スペシャルライヴ

GOSPEL

魂の歌、そして勇気と希望を与えてくれる歌
そこにいるすべての人が幸せになることができる
ゴスペルライヴをお楽しみ下さい！

入場無料

日時　2月22日（日）　開場 13時　開演 13時30分

会場　一宮市尾西市民会館　一宮市東五城字大平裏43－1

主催　社会福祉法人一宮市社会福祉協議会　電話：63－4800（尾西支部）

※満員の際は入場を制限させて頂くことがあります。ご了承下さい。

社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会

本　部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL〈0586〉24－2940（代表）　FAX〈0586〉72－5022
ホームページ　http://www.138sk.org

尾西支部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4Ｆ）
TEL〈0586〉63－4800
FAX〈0586〉61－2970

木曽川支部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87－2000
FAX〈0586〉86－0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで